

CRIC 著作権ビジネス講座 拡大するネット上の動画利用とコンテンツビジネス

2013
TOKYO

■ □ ■ 著作権制度を味方につける ■ □ ■

スマートフォンやタブレット端末でも動画が閲覧できるようになるなど、ネットワーク上での動画利用が拡大しつつあるなか、動画配信ビジネスやそれに係る著作物の利用と管理は、今後どのように展開していくのだろうか！？ 本講座では、動画配信を中心にネットワーク上の著作物の利用に関してコンテンツビジネスが取るべき対応などについて講師の方々に示唆、解説していただきます。

7/23 (TUE)

Aコースは1日目のみを
単独でも受講できます！

12:30 受付開始

A

B

13:00	▼	14:10
「実務に役立つ著作権制度の基礎知識 ～ネット上の動画利用を中心に～①		
桑野 雄一郎 氏 骨董通り法律事務所 弁護士		
Break		
14:20	▼	15:30
「実務に役立つ著作権制度の基礎知識 ～ネット上の動画利用を中心に～②		
Coffee Break		
15:50	▼	17:00
「実務に役立つ著作権制度の基礎知識 ～ネット上の動画利用を中心に～③		

13:00	▼	14:50
「ネット上のコンテンツ流通と著作権法」 茶園 成樹 氏 大阪大学大学院高等司法研究科 教授		
Coffee Break		
15:10	▼	17:00
「動画等に関する近時の著作権裁判例」 志賀 勝 氏 東京地方裁判所 民事第47部 裁判官		

7/24 (WED)

10:00	▼	11:10
「niconico とメディア変革 ～著作権に触れてみた～」 杉本 誠司 氏 株式会社ニワンゴ 代表取締役社長		
Coffee Break		
11:30	▼	12:40
「放送事業者がコンテンツを配信する時 ～実例と諸課題～」 江藤 巖二 氏 日本放送協会 関連事業局 専任部長		
Lunch 昼食は、当方にて用意いたします		
13:40	▼	15:30
「ネット上の動画コンテンツ取引を巡る著作権法上の諸問題」 升本 喜郎 氏 TMI総合法律事務所 弁護士		

Aコースは、著作権制度について初めて学ぶ方、**Bコース**は、日頃から著作権関連業務に携わっている方などを対象とし、両コースとも2日間の集中講座でその後の実務に役立てていただける内容です。

また、**Aコース**は、1日目のみの受講が可能です。新人教育の場として、またすでに日々の業務で著作権に触れていらっしゃる方の知識の確認と復習の場として活用していただける内容です。

- **日時** 7月23日(火)～24日(水)
- **会場** アルカディア市ヶ谷 (私学会館)
東京都千代田区九段北 4-2-25
電話 03-3261-9921
- **定員** 180名 (定員になり次第締切)
- **参加費** (1名：消費税を含みます)

コース	A1日目のみ	A 2日間	B 2日間
会 員	20,000 円	34,000 円	34,000 円
一 般	25,000 円	42,000 円	42,000 円

- **申込期限** 7月9日(火)



会場アクセス 市ヶ谷駅から徒歩2分(A1-1,A4 出口)
JR(総武線) / 地下鉄(有楽町線・都営新宿線・都営南北線)

実務に役立つ著作権制度の基礎知識～ネット上の動画利用を中心に～



桑野 雄一郎
KAWANO YUICHIRO

骨董通り法律事務所
弁護士

著作権そのものはとても身近な権利ですが、著作権法の内容については、誤解されていること、正確に理解されていないことも少なくありません。著作権法の基本的な枠組みを踏まえて、動画配信をめぐる著作権問題を俯瞰します。

◆◆◆◆ 講義内容(予定) ◆◆◆◆

- 1 はじめに～著作権法の全体像
- 2 著作権法の世界の登場人物その1～著作権の権利者～
- 3 著作権法の世界の登場人物その2～著作権の侵害者～
- 4 補足

- 5 著作隣接権
- 6 動画配信と著作権

●●●●●●●● 略 歴 ●●●●●●●●

1991: 早稲田大学法学部卒業
1993: 弁護士登録(第二東京弁護士会)
2003: 骨董通り法律事務所を設立
2006～2009: 最高裁判所司法研修所教官(刑事弁護担当)
現在、東京藝術大学・同大学院講師、島根大学大学院法務研究科教授などを兼任。

●●●●●●●● 主な著書 ●●●●●●●●

『外国著作権法令集(46)ロシア編』(翻訳/CRIC/2012)
「著作権侵害の罪の客観的構成要件」『島大法学』第45巻第1・2号所収/島根大学法文学部・島根大学大学院法務研究科/2011)
『出版・マンガビジネスの著作権』(CRIC/2009)
「まんが出版ビジネスをめぐる新たな著作権問題」(コピライト 561号/2008)

ネット上のコンテンツ流通と著作権法



茶園 成樹
CHAEN SHIGEKI

大阪大学大学院
高等司法研究科 教授

ネット上のコンテンツ流通をめぐる著作権法上の諸問題、特に、コンテンツの権利帰属、コンテンツ流通と複製権・公衆送信権、技術的保護手段の回避について、映像コンテンツを中心に検討します。

◆◆◆◆ 講義内容(予定) ◆◆◆◆

- 1 ネット上のコンテンツ流通
- 2 コンテンツの権利帰属
- 3 コンテンツ流通と複製権・公衆送信権
- 4 技術的保護手段の回避
- 5 その他の問題

●●●●●●●● 略 歴 ●●●●●●●●

1989: 大阪大学大学院法学研究科博士課程単位満了退学
1989: 同 法学部助手
1993: 同 法学部助教授
1999: 同 大学院法学研究科助教授
2003: 同 大学院法学研究科教授
2004: 同 大学院高等司法研究科教授

●●●●●●●● 主な著書 ●●●●●●●●

『特許法』(有斐閣/2013)、『知的財産法入門』(有斐閣/2013)、
『意匠法』(有斐閣/2012)
「著作権と商標権の関係」(コピライト604号/2011)
「引用」の要件について」(コピライト565号/2008)
「著作権の最近の諸問題」(ジュリスト1326号/有斐閣/2006)
「映画の著作者・著作権者について」(コピライト522号/2004)
「著作権の制限における出所明示義務」『著作権法と民法の現代的課題-半田正夫先生古稀記念論集-』(法学書院/2003)
「EUにおけるインターネットを通じた著作権侵害の準拠法」(著作権研究27号/著作権法学会/2003)

動画等に関する近時の著作権裁判例



志賀 勝
SHIGA MASARU

東京地方裁判所
民事第47部裁判官

動画や映像、それらを用いたコンテンツビジネス等に関する近時の著作権裁判例を紹介し、その争点やそれに対する裁判所の判断、注目すべきポイント等について解説します。

●●●●●●●● 略 歴 ●●●●●●●●

1998: 東京大学法学部卒業
2000: 東京地方裁判所
2002: 福島地方・家庭裁判所郡山支部
2005: 名古屋地方裁判所
2008: 預金保険機構
2011: 東京地方裁判所(現)

●●●●●●●● 主な著書 ●●●●●●●●

『Q&A著作権の知識100問』(共著/日本加除出版/2013)

niconico とメディア変革 ～著作権に触れてみた～



杉本 誠司
SUGIMOTO SEIJI

株式会社ニワンゴ
代表取締役社長

niconico などの動画サービス、ソーシャルメディアが出現して数年が経過したが、昨年頃からネットインフラを利用したサービスを軸に世の中が変化してきています。その過程でどんな事象が起きているのか、ネット事業者の視点からどういったことを起こそうとしているのか、また起きてきたのかを中心に、今後どういったビジネスの可能性があるのかをお話します。

◆◆◆◆ 講義内容 (予定) ◆◆◆◆

- 1 niconico (サービス) の理解
- 2 エコシステムとプラットフォーム
- 3 権利問題とその対応
- 4 音楽文化の変革
- 5 まとめ

●●●●●●●● 略 歴 ●●●●●●●●

1989: 桜美林大学経済学部卒業後、気象情報会社のウェザーニューズなどに勤務
2003: ドワンゴ入社
2007: ニワンゴ社長就任。ニコニコ動画の運営指揮にあたる。

放送事業者がコンテンツを配信する時 ～事例と諸課題～



江藤 巖二
ETO GANII

日本放送協会
関連事業局 専任部長

NHK で数々の通信サービスをプランニングしてきた経験にもとづき、放送事業者が行うさまざまな通信サービスの実例を挙げながら、新サービスの多様な方向性とそれぞれに付随する諸課題を紹介いたします。

◆◆◆◆ 講義内容 (予定) ◆◆◆◆

- 1 NHK アーカイブス以前/以後
- 2 コンテンツ配信 事例紹介
- 3 今後に向けて

●●●●●●●● 略 歴 ●●●●●●●●

1983: 東京大学文学部卒業
1983: NHK 入局 (「歴史誕生」「歴史発見」「NHK スペシャル大モンゴル」等担当)
1992: NHK エデュケーショナル 出向 (CD-ROM インタラクティブ絵本等プロデュース)
1998: NHK 復職 (NHK アーカイブス、NHK オンデマンド等担当)
2009: NHK エデュケーショナル 出向
2012: NHK 復職 (現)

ネット上の動画コンテンツ取引を巡る著作権法上の諸問題



升本 喜郎
MASUMOTO YOSHIRO

TMI 総合法律事務所
弁護士

ネット上の動画コンテンツ取引の形態を、VOD (ビデオ・オン・デマンド) サービス、動画共有サービス、ユーザーの個人利用を目的としたサービス (タイム/スペース・シフティングによるテレビ視聴サービス等) に分類し、各サービス毎に、著作権法上の問題点を検討します。

◆◆◆◆ 講義内容 (予定) ◆◆◆◆

- 1 ネット上の動画コンテンツ取引の諸形態
- 2 ネット上の動画コンテンツ取引と著作権法上の問題
- 3 コンテンツの権利保護と円滑な流通実現のための実務上の留意点

●●●●●●●● 略 歴 ●●●●●●●●

1987: 東京大学経済学部卒業
1993: 第二東京弁護士会登録、TMI総合法律事務所入所
1998: 中央大学法学部兼任講師
2000: カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (UCLA) ロースクール (LL.M.) 卒業、ニューヨークのソニー・ミュージックエンタテインメント・インク法務/ビジネスアフェアーズ部門勤務
2001: TMI総合法律事務所復帰

これまでに、中央大学法科大学院兼任講師、映画専門大学院大学教授、外国映画輸入配給協会理事、社団法人衛星放送協会理事などを歴任。

●●●●●●●● 主な著書等 ●●●●●●●●

「エンタテインメント契約の解釈をめぐる実務上の諸問題」(コピライト 593 号/2010)
『著作権の法律相談 (第2版)』(共著/青林書院/2009)
「譲渡契約の解釈」『著作権判例百選 (第4版)』(有斐閣/2009)
『映画・ゲームビジネスの著作権』(共著/CRIC/2007)
「エンタテインメント訴訟における主張・立証活動」(コピライト 556 号/2007)
「パブリシティの権利の侵害について」『知的財産法の理論と実務 第4巻』(新日本法規/2007)
『エンターテインメントと法律』(共著/商事法務/2005)

参 加 申 込 書 (FAX用)

2013
TOKYO

(03 - 5348 -6200)

下記のとおり「著作権ビジネス講座」(東京)への参加を申し込みます。

※CRIC ホームページ(<http://www.cric.or.jp/seminar/form.html>)からもお申し込みいただけます。

● 申 込 者

申込日：2013年 月 日

法人名または個人名			
部署名および担当者名			
住 所	〒 -		
電話番号		FAX 番号	
e-mail			CRIC 会 員 ・ 一 般
参加人数	名		(弁理士の方のみ) 受講証明書発行を希望する ・ 希望しない
この講座を何でお知りになりましたか？	開催案内 DM・勤務先の勧め・CRIC ホームページ メルマガ・facebook・その他 ()		

● 参 加 者 (参加コースに○をしてください)

氏 名 (フ リ ガ ナ)		コースを選択してください		
①		A1 日目のみ	A2 日間	B2 日間
②		A1 日目のみ	A2 日間	B2 日間
③		A1 日目のみ	A2 日間	B2 日間
④		A1 日目のみ	A2 日間	B2 日間

申 込 要 領 ・ ご 注 意 等

満席が予想されますので、お早めにお申し込みください

- 参加申込書に必要事項をご記入の上、ファクシミリにてお申し込みください。
- お申込みは先着順とさせていただきます。
- 申込受付後、「受講票・受付票」と「請求書」を郵送いたします。
- 参加費は、請求書記載の銀行口座にお振込みください。(当日会場にて現金でのお支払いはできません。)
- 払込金受領証をもって領収証にかえさせていただきます。
- 参加費お支払い後のキャンセル(払戻し)や他の講座への振替はできません。(代理出席は可能です。)
- お申込み後、7日間を過ぎても受講票等が届かない場合には、ご一報ください。
- 欠席された方には、当日の資料を後日お送りいたします。

当日は「受講票・受付票」を必ずご持参ください

- * CRIC は、日本弁理士会の継続研修の外部団体として認定されています。この講座は、継続研修として認定申請中です。この研修を修了し所定の申請をすると、受講講座に応じた単位が認められる予定です。(2日目の1時限と2時限は、合わせて2単位となります。)

お問合せ先 公益社団法人著作権情報センター TEL 03-5348-6030 FAX 03-5348-6200

担当者 ◆受講票・参加費請求・入金：管理部 渡邊 ◆その他全般：業務部 吉田

〒169-0074 東京都新宿区北新宿 2-21-1 新宿フロントタワー32F

*お知らせいただいた個人情報は本講座の運営、及び当センターが実施する事業(講座・セミナーの開催や書籍の発行を含む)などのご案内のために必要な範囲以外では利用いたしません。